

令和8年6月30日



学校だより 7月号

横浜市立瀬谷さくら小学校
校長 場家 誠

学校教育目標 「自分大すき 友だち大すき このまち大すき さくらの子」

(知) 困難なことにもあきらめずに挑戦する子に育てます。

(徳) 物事の善悪をきちんと判断し、辛抱と我慢のできる子に育てます。

(体) 自分や人の命を大切にできる子に育てます。

(公) 小さなことでも、社会に役立つための行動ができる子に育てます。

(開) 様々な人とのコミュニケーションを通じて、社会への視野を広げる子に育てます。

「見て学ぶ」・「聞いて学ぶ」・「為すことによって学ぶ」

校長 場家 誠

令和8年度も3か月が過ぎようとしています。「時がたつのは速いな…」と思ってばかりの日々です。

さて、例年6月7月はどの学年も校外学習に出かけます。今年度もここまで、ほぼ予定通りに、各学年があちらこちらに出かけて、多くのことを学んできています。ほんの少しですが、子どもたちの学びの様子を紹介します。

百聞は一見に如かず=見て学ぶ (6月5日 3年横浜見学)

「海から見た横浜のまちには、ランドマークタワー、かんらん車、ベイブリッジ、赤レンガ倉庫、風力発電所などがありました。」

「横浜のまちを歩いてみると、信号や交差点が多く、道路も広かったです。タクシーやバスがたくさん走っていました。」

「高いビルがたくさんあって、ビルの前を人がいっぱい歩いていました。お店もいっぱいありました。」

などなど、やはり「見ること」によって、子どもたちは多くのことを学んでいました。

聞いて学んで、見て学んで、やって学んで (6月12日 4年愛川体験学習)

「宮ヶ瀬ダムで話を聞いて、ダムを造るメリットは、こう水を防ぐ、水道水をためる、電気を作ることだとわかった。」

「あい染めをやったとき、最初は緑色だったけど、だんだん青色に変わっていくことがふしぎだなと思った。」

「宮ヶ瀬ダム見学やあい染め体験で、自分のイメージとちがったことを知れた。」

「時計係をやって、5分前行動ができたり、みんなに時間を伝えられたりした。」

などなど、ダムで働く人から話を聞いて学んだり、実際にやってみて学んだりしました。まさに体験学習でした。

学びから、自分づくり・仲間づくりへ (6月17日、18日 5年三浦体験学習)

「かまど係で、新聞紙を一気に使ってしまった。1枚1枚、破ったり丸めたりしたらよかったと思う。」

「キャンプファイヤーでは、クラス全体で全力で取り組み、学年全員で取り組むレクでは協力が際立っていた。」

「〇〇さんや◇◇さんは、クラスも一緒になったことがなかったけど、部屋班で一緒になれて仲を深められた。」

「6年の日光では、ぼくが実行委員をやります。今の5年生が頑張っているところを見てやろうと思いました。」

磯遊びや野外炊事、キャンプファイヤーでも多くのことを学びましたが、やはり「一夜をともにする」という経験は、自分づくりや仲間づくりという点において、子どもたちにとって何にも代えがたいものになったようです。

初体験はドキドキ、ワクワク (6月25日 1,2年遠足=湘南台文化センター)

「はじめてリーダーをやって楽しかった。みんなに『ならんで』って言ったら、ならんでくれたから。」

「はじめてリーダーやってみて大変だった。(展示ホールにいた時)6人みんながあちこち行っちゃったから。」

「いちばんおもしろかったのは、プラネタリウム。星や空がきれいでした」

「いちばん楽しかったことは(2階の円環ギャラリーで)PCでお絵描きしたこと。はじめてマウスを使うのも楽しかった。」

1年生は小学生になって初めての遠足。2年生はペア活動での初めてのリーダー。それぞれドキドキ、ワクワクしながら楽しく過ごせたようです。この後、学校内での関わりが増えてくることでしょう。

残すは、6年の修学旅行だけとなりました。6年生も、日光において多くのことを学んできてほしいと思います。引き続き、子どもたちへのご支援をよろしくお願いいたします。

GREEN×EXPO 2027 開幕まで 263日⇒

